

イビデングループ AI 基本方針

イビデングループ（以下「当社グループ」といいます。）は、人と地球環境を大切にし、革新的な技術で、豊かな社会の発展に貢献するという企業理念のもと、人工知能(AI)を人の創造性と意思決定を支援する技術と位置づけ、責任ある形で活用します。

一方で、AI の利活用には、価値創出と同時に、人権、プライバシー、情報セキュリティ、知的財産、公平性及び透明性への配慮が不可欠であることを認識しています。当社グループは、これらの課題に真摯に向き合い、AI の利活用によりもたらされる新たな価値創造に挑戦していきます。これらの取組の軸となる指針として、当社グループは以下のとおり AI 基本方針を定めます。

1. AI 活用による価値創出

当社グループは、長年培ってきたプロセス設計や材料設計などの製造技術や設備技術及びデータ活用の知見と AI 技術を融合させることで、高品質・高信頼性の製品及びサービスの提供を目指します。あわせて、生産性や安全性の向上、生産プロセスの最適化を通じたエネルギーや資源の使用効率向上など、環境負荷の低減にも取り組みます。

また、AI の利活用は、事業を通じた社会課題の解決や価値創出の手段であり、人の判断を補完・支援する技術であるとの認識のもと、適切に活用します。

2. 人権の尊重・公平性の確保

当社グループは、AI の利活用にあたり、全ての人の基本的人権と人格を尊重します。AI 技術の進歩によってもたらされる恩恵だけでなく、AI 技術の利活用によって起こり得るバイアス、不公平さ、差別、誤情報等のリスクがあることを認識し、そうした危険性につながる AI 技術の悪用・誤用の防止に努めます。

また、AI の結果を絶対的なものとして扱うのではなく、人が妥当性を確認しながら活用することで、公平性の確保に取り組みます。

3. 透明性の確保

当社グループは、AI の利活用において、必要な説明責任を果たせるよう、ログの取得・管理などを実施し、生成された結果や判断について、誠実かつ適切なコミュニケーションに努めます。

4. 知的財産・著作権の尊重

当社グループは、AI の利活用にあたり、関連法令を順守します。また、著作権を含む知的財産権を尊重するとともに、知的財産権侵害のリスク低減に努めます。

5. プライバシー保護と情報セキュリティ

当社グループは、AI の利活用において取り扱う個人情報及び機密情報を適切に管理し、法令及び社内規程に基づき、プライバシー保護及び情報セキュリティの確保に取り組めます。個人情報の取扱いに際しては、当社グループ[プライバシーポリシー](#)及び適用法令を遵守し、適切な管理・運用に配慮します。また、AI システムに対する不正アクセスや情報漏洩、データの不適切な利用を防止するため、必要な対策を講じます。

6. 人財育成

当社グループは、AI 技術の特性やリスクを適切に理解し、AI を活用して新たな価値創出に挑戦できる人財を育成していきます。AI を正しく理解した上で積極的に利活用を推進できる社内人財を育成するためのリテラシー教育やトレーニングを行います。

当社グループは、AI 技術及び社会環境の変化を踏まえ、本方針を適宜改定します。この場合、変更後の方針は、当社グループがウェブサイトへの掲載又はその他の方法により公表した時点で当然に効力が生じるものとします。